

平成16年度 活動報告

(2004年度)



羅白岳地質植物観察会

1. 運営	124
2. 教育普及	126
3. 調査研究・資料収集	130
4. 文化財保護	133

1. 運 営

1. 平成16年度の投資的事業

事業名	予算	内 容	担当
知床ライブラリー第6巻刊行・第7巻編集事業	2,297	第6巻「知床の植物I」の刊行 第7巻「知床の植物II」の編集	内田 内田
国営畑総緊急発掘調査事業	35,534	国営畑地帯総合土地パイロット事業に係る発掘調査	松田
国道緊急発掘調査	16,885	一般国道334号ウトロ道路改良工事に係わる発掘調査	松田

2. 予算

1) 博物館費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算
報 酬	131	役 務 費	1,544
共 済 費	417	通 信 運 搬 費	582
賃 金	252	手 数 料	947
報 償 費	875	保 険 料	15
旅 費	477	委 託 料	5,664
需 用 費	8,611	使用料及び賃借料	429
消 耗 品 費	1,093	原 材 料 費	100
食 料 費	8	備 品 購 入 費	180
印 刷 製 本 費	2,818	負担金補助及び交付金	67
燃 料 費	572	公 課 費	26
修 繕 料	453		
光 熱 水 費	3,517	合 計	18,773
飼 料 費	150		

2) 文化財保護費

(千円)

費 目	予 算
報 酬	33
賃 金	888
旅 費	63
需 用 費	109
消 耗 品 費	16
印 刷 製 本 費	6
修 繕 料	18
光 熱 水 費	69
役 務 費	63
通 信 運 搬 費	63
負担金補助及び交付金	121
合 計	1,277

3) 国営畑総緊急発掘調査費

(千円)

費 目	予算額	費 目	予算額	費 目	予算額
給 料	3,490	消 耗 品 費	842	通 信 運 搬 費	143
職 員 手 当 等	2,222	印 刷 製 本 費	559	手 数 料	470
共 済 費	3,484	燃 料 費	181	委 託 料	2,724
賃 金	19,656	修 繕 料	55	使用料及び賃借料	1,447
旅 費	150	光 熱 水 費	114		
需 用 費	1,751	役 務 費	613	合 計	35,537

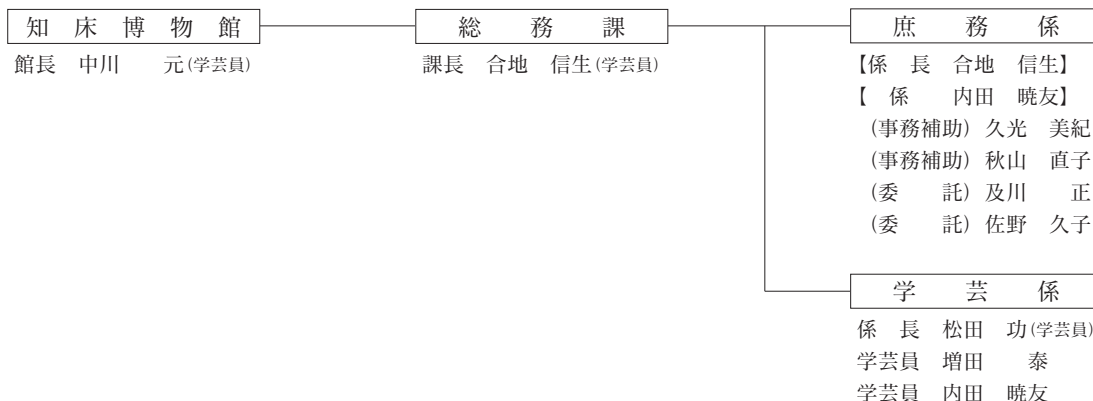
4) 国道緊急発掘調査費

(千円)

費 目	予算額	費 目	予算額	費 目	予算額
給 料	775	消 耗 品 費	211	通 信 運 搬 費	53
職 員 手 当 等	1,176	印 刷 製 本 費	244	手 数 料	200
共 済 費	1,487	燃 料 費	20	委 託 料	2,856
賃 金	9,180	修 繕 料	22	使用料及び賃借料	564
旅 費	75	光 熱 水 費	27		
需 用 費	524	役 務 費	253	合 計	16,890

3. 組織・職員

■斜里町立知床博物館



■斜里町立埋蔵文化財センター



■博物館協議会（任期：平成15年4月1日～平成17年3月31日）

会長 高橋 信広 委員 佐藤 隆夫 石田 篤司 豊口 光宏 村上 涼子
副会長 高木 寿一 植木 玲一 岩見 慶一 相内 勝也 橋本 勝

■文化財調査委員会（任期：平成15年4月1日～平成17年3月31日）

会長 河村 淳史 副会長 門間 恵彦 委員 河面 正吾 島多 哲夫 松本 宣親

4. 博物館利用状況

全入館者

月	一般	高校生	小中学生	幼児	計	有料入館者	開館日数	一日平均入館者(有料)
4月	834	96	137	92	1159	468	26	45 (18)
5月	1270	22	186	52	1530	965	27	57 (36)
6月	1351	7	377	176	1911	772	26	74 (30)
7月	2128	64	483	166	2841	1087	28	101 (39)
8月	1385	69	388	123	1965	1254	26	76 (48)
9月	1278	2	263	93	1636	892	27	61 (33)
10月	1009	6	126	25	1166	612	28	42 (22)
11月	420	4	77	16	517	255	23	22 (11)
12月	307	2	53	73	435	85	24	18 (4)
1月	231	52	25	11	319	161	21	15 (8)
2月	780	20	82	23	905	581	23	39 (25)
3月	644	5	80	18	747	421	26	29 (16)
合計	11,637	349	2,277	868	15,131	7,553	305	50 (25)

団体入館者

月	町内団体		町外団体		合計	
	件	人数	件	人数	件	人数
4月	3	55	2	233	5	288
5月	4	25	10	306	14	331
6月	8	242	15	413	23	655
7月	10	134	17	353	27	487
8月	16	175	8	198	24	373
9月	4	40	13	455	17	495
10月	7	72	10	297	17	369
11月	4	29	3	73	7	102
12月	4	79	1	4	5	83
1月	1	6	6	88	7	94
2月	1	12	24	408	25	420
3月	1	6	19	233	20	239
合計	63	875	128	3,061	191	3,936

2. 教育普及活動

1. ロビー展・特別展

第26回特別展「活火山羅臼岳」を開催し、羅臼岳の火山形成史を最新の知見をもとに解説した。またロビー展を7回実施した。特別展とあわせロビーの展示会場使用は237日であった。

期日	題名	内容	参加者	担当
(ロビー展)				
4月3-28日	microphilia 内田暁友写真展	知床の小さな生物の写真展	958	内田
4月29日-5月30日	あかしのぶこ絵本原画展	絵本「ねむたいねむたいももんがたち」原画展	1,625	増田
6月1-27日	斜里川の魚たち	斜里川を考える会による川の生き物の紹介	1,757	増田
7月24日-8月28日	知床の昆虫	知床で採集された昆虫標本や生きた昆虫の展示	2,213	松田
9月1-24日	しれとこ植物画同好会展	博物館を活動の場とする植物画サークルの作品展	1,393	内田
10月9-30日	はた織り会作品展	博物館を活動の場とするはた織り会と日の出学園生徒の作品展	845	松田
3月6-31日	北海道と世界の身近な宝石	北大総博の松枝氏の鉱物コレクションを中心とした宝石展	570	合地
(特別展)				
12月1日-2月27日	特別展「活火山羅臼岳」	羅臼岳形成史を最新の知見を加えて紹介	1,659	合地
	合計8事業	合計	11,020	

2. 講演会

特別展とあわせて特別講演会「活火山羅臼岳の噴火史と山体形成」を開催した。またロビー展「北海道と世界の身近な宝石」とあわせて講演会「黄金の国ジバング」を開催した。

期日	題名	講師	内容	場所	参加者	担当
2月12日	特別講演会「活火山羅臼岳の噴火史と山体形成」	後藤芳彦 (室蘭工業大学)	これまで明らかになった噴火史の紹介	映像展示室	30	合地
3月18日	講演会「黄金の国ジバング」	松枝大治	金を科学・文化・産業史的な内容で紹介	映像展示室	22	合地
	合計2事業			(合計)	52	



特別講演会「活火山羅臼岳の噴火史と山体形成」



講演会「黄金の国ジバング」

3. 博物館講座

27講座を実施、のべ445人が参加した。昨年に引き続き体験・学習一体型講座として「ミュージアムワーク」、小学生向け通年参加型の「知床海と森の学校」を開催した。「ミュージアムワーク」ではコククジラの骨格掘り出しや洗浄などを行った。「海と森の学校」では3回を羅臼町教育委員会との共同開催とし、両町の小学生の交流をはかった。

1) 体験・学習一体型講座

知床海と森の学校

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
6月 5日	ホエールウォッチング	羅臼町知床キッズと共催でクジラ観察会	羅臼町	21	増田
7月18日	海の生きもの観察	岩礁帯の生きものや地層の観察	チャシコツ崎	24	増田
9月 7日	止別海岸ハイキング	砂浜の生きもの観察・ビーチコーミング	止別	22	増田
10月16日	森の教室	森林センターと共催、イチイの単木保護	オシンコシン	23	増田
10月30日	カムイワッカ川・温泉体験	カムイワッカ湯の滝と周辺自然観察	カムイワッカ	14	増田
2月19日	歩くスキーでいく海岸林	森林センターと共催、大栄海岸林の観察	大栄	10	増田
3月 8日	流水の海の動物・船上観察会	オオワシ・オジロワシ・アザラシ類の観察	羅臼	18	中川
	合計7講座		(合計)	132	

2) 一般の博物館講座

期日	講座名	内容	場所	参加者	担当
5月 5日	皆既月食観察会	曇天のため中止	—	—	松田
5月16日	オロンコ岩観察会	シコタンタンポポなどの観察会	ウトロ	11	内田
5月19日	ニート彗星観察会	接近中の彗星の観察会	天体ドーム	11	合地
6月 8日	金星太陽面通過観察会	金星の太陽面通過の観察	天体ドーム	12	合地
6月11日	ニート・リニア彗星観察会	接近中のW彗星の観察会	以久科南	14	松田
6月27日	羅臼岳地質植物観察会	特別展の内容に合わせた観察会	羅臼岳	20	合地
7月 4日	斜里町内史跡バスツアー	町内の史跡・文化財の解説	町内	7	松田
7月18日	チャシコツ崎海岸植物観察会	チャシコツ崎周辺の海岸植物の観察	チャシコツ崎	7	内田
8月 3日	夏休み体験講座	蛇紋岩を使った玉作り講座	わらドーム	5	松田
8月 4日	夏休み体験講座	紙漉体験	博物館	9	内田
8月 5日	夏休み体験講座	石を磨いてみよう	博物館	12	合地
8月 6日	夏休み体験講座	はたおり体験	博物館ホール	17	松田
8月10日	夏休み体験講座	川の生き物観察会	幾品川	9	増田
8月12日	夏休み体験講座	ペルセウス座流星群観察会	中止	—	合地
9月12日	来運1遺跡見学会	来運1遺跡出土遺構見学会	来運	60	松田
9月20日	鳴く虫の観察会	博物館周辺の秋の虫の観察会	博物館	3	松田
10月14日	部分日食を見よう	部分日食の観察会	天体ドーム	22	合地
10月17日	はたおり体験	はたおり展示会に合わせたはたおり講座	博物館ホール	8	松田
11月18日	しし座流星群観察会	曇天のため中止	—	—	合地
12月28日	もちつき大会	開館記念のもちつきの他、昔の遊び体験	博物館	76	松田
2月27日	ペーパーウエイトづくり	羅臼岳の石を磨いてペーパーウエイト作成	埋文センター	8	合地
3月 5日	木星・土星と冬の星座観察会	天体観測	町内	9	合地
	合計22講座企画 (19講座実施)		合計	320名	

4. 生涯学習連携事業

町内の小中学校との連携による授業指導や自然観察会、体験発掘を実施したほか、老人クラブを対象に公民館講座、町教育委員会主催の高齢者講座「生きがい大学」の講師を行った。

1) 学校教育連携・公民館講座

期日	事業名	内容	場所	担当
5月19-20日	斜里高発掘体験	高校1年生対象の発掘体験	来運	松田
6月9-10日	斜里高総合学科宿泊研修	高校1年生対象の自然体験学習	チャンコツ	増田
6月11日	小清水町立旭野小自然観察会	博物館野外観察園での自然観察	博物館	増田
6月17日	町内教員初任者研修	斜里町の歴史・自然史の講義	博物館	中川
6月23日	斜里小自然観察	フレペの滝付近の自然観察	国立公園内	中川
7月7日	三井小自然観察	フレペの滝付近の自然観察	国立公園内	中川
7月9日	ウトロ中自然観察	ボンホロ沼～台地の自然観察	ウトロ	増田
	斜里高校講義	修学旅行の事前学習	斜里高校	中川
	大谷幼稚園天体観測	夏の星座の観察	天体ドーム	合地
7月24日	ウトロPTA海の観察会	磯の生きものの観察	チャンコツ	増田
7月25日	常呂少年自然の家講義	斜里の自然の解説	博物館	増田
7月28-30日	斜里高校職場研修	高校教諭の職場研修	博物館	合地
9月3日	斜里中職場体験	中学生の職場体験学習	博物館	合地
9月22日	小清水町学校教育振興会実技研修	理科教員の自然観察研修	小清水原生花園	内田
10月18日	北海道大学講義	獣医学の特別講義	北海道大学	増田
10月20日	大谷幼稚園自然観察会	秋の身近な自然観察	町民公園	増田
11月19日	斜里高校講義	知床の哺乳類	斜里高校	増田
1月26日	標津高校総合学習	知床の動物の学習	博物館	増田
1月27日	越川公民館講座	サハリンの自然と文化	越川公民館	合地
2月23日	川上公民館講座	知床の温泉	川上公民館	合地
	合計20事業			

2) 生きがい大学専門課程

期日	時間	会場	テーマ	受講生	担当
4月22日	13:00-14:45	映像展示室	博物館の紹介と鳥インフルエンザ	22	中川
5月6日	13:00-14:45	映像展示室	イラクの石油と中生代の地球	20	合地
6月3日	13:00-14:45	映像展示室	地層を調べる	21	松田
6月10日	10:00-11:45	映像展示室	斜里町の先史	21	松田
7月1日	13:00-14:45	映像展示室	斜里岳群発地震	20	合地
8月5日	13:00-14:45	公民館ホール	知床・斜里のスマイル	16	内田
9月16日	10:00-11:45	映像展示室	知床・斜里の植物研究史	15	内田
10月14日	10:00-11:45	映像展示室	木の実と動物たち・部分日食観察	20	増田
10月21日	13:00-14:45	映像展示室	斜里川水系の魚類	20	増田
11月18日	13:00-14:45	映像展示室	博物館課程まとめと終了式	21	中川
			合計10講座	(合計) 196名	

5. 研修受け入れ

1) 博物館学学生実習

期 日	所 属 大 学	内 容	参加者	担当
9月2-10日	帯広畜産大学 北海道文教大学	大学における学芸員資格取得実習 "	1 1	各学 芸員
			合計2名	

2) 文学部考古実習

期日	所属大学	内容	参加者	担当
9月25-30日	北海道大学	遺跡を探そう「フィールドワーク体験研修」	20	松田
			合計20名	

3) 教員長期社会体験研修

期日	所属学校	内容	参加者	担当
9月29日-1月15日	北見高栄中	中学教員の職場研修	1	合地
			合計1名	

6. 出版・広報活動

出版物名	発行期日	内容	執筆	規格	対象	部数
第26回特別展図録	2004.12. 1	活火山羅臼岳	増田	A4変36P	一般	1,000
博物館のひろばNo.92	2005. 3. 1	知床国立公園の歴史	中川	A4版2P	町内全	6,000
博物館のひろばNo.93	2005. 3. 1	水酸化鉄と鉄釜とベニガラ	合地	A4版2P	町内全	6,000
タンネウシNo.149	2004. 4.15	行事案内・博物館情報	秋山・増田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.150	2004. 5.15	行事案内・博物館情報	秋山・内田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.151	2004. 6.15	行事案内・博物館情報	秋山・合地	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.152	2004. 7.15	行事案内・博物館情報	秋山・合地	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.153	2004. 8.15	行事案内・博物館情報	秋山・松田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.154	2004. 9.15	行事案内・博物館情報	秋山・増田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.155	2004.10.15	行事案内・博物館情報	秋山・増田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.156	2004.11.15	行事案内・博物館情報	秋山・中川	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.157	2004.12.15	行事案内・博物館情報	秋山・合地	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.158	2005. 1.15	行事案内・博物館情報	秋山・松田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.159	2005. 2.15	行事案内・博物館情報	秋山・増田	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.160	2005. 3.15	行事案内・博物館情報	秋山・内田	A4版2P	会員他	500
しれとこライブラリー第6巻 「知床の植物I」 ホームページ公開	2005. 3.31 随時	知床の高山植物、シダ植物など 展示・行事・出版案内他	内田 内田	A5版240P	町内外 町内外	1,000



夏休み体験講座「紙漉体験」



来運1遺跡見学会

3. 調査研究・資料収集

1. 調査研究活動

調査名	期間	内容	担当
特別展資料調査	5-10月	羅白岳の火山形成史研究	合地
埋蔵文化財調査			
ウトロ遺跡	9-10月	ウトロ地区の縄文遺跡発掘調査	松田
来運1遺跡	5-8月	来運地区の縄文遺跡発掘調査	松田
来運5遺跡	5-8月	来運地区の縄文遺跡発掘調査	松田
行政連携調査			
アライグマ生息状況調査	通年	アライグマの痕跡、捕獲調査、情報収集	増田
植物絶滅危惧植物調査	5-10月	環境省レッドリスト見直し調査	内田
博物館単独調査			
稀少鳥類調査	通年	オジロワシの繁殖状態、ワシ類の越冬状況調査	増田・中川
ストランディング調査	通年	鯨類・鯨脚類の漂着調査	増田
共同調査			
昆虫生態調査	5-10月	斜里町内に生息する昆虫類の調査	松田

2. 資料収集・保存事業

分野	期間	内容	担当
植物資料作成・保存	通年	植物採集・標本作製・整理	内田
各分野の資料受入と保存	通年	資料収集・整理・保管・登録台帳整備	各学芸員

新規受入資料

動物	歴史	民俗	美術	科学	合計
37	3	129	3	1	173



部分日食観察会

3. 個別活動

中川 元

担当：動物

1. 報文

中川 元. 2004. シマフクロウの羽毛.

HOPPOKEN 127: 6-7.

中川元. 2004. シマフクロウ・オジロワシ・オオワシ. モーリー 10: 39-42.

中川元. 2004. オオワシ. 北海道百科1: 124-126.

中川元. 2004. 希少種の保護. 北海道百科1: 127.

中川元. 2004. 鳥類. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.174-205. 斜里町, 斜里.

植田睦之・福田佳弘・松本経・中川元. 2004. 知床半島におけるオオワシの渡りと気象状況. Strix 22: 71-80.

白木彩子・増田泰・中川元. 2004. 保護収容したオオワシの放鳥後の行動追跡. Jpn. j. Zoo. Wild. Med. 9: 97-102.

2. 館外活動

2004.7.8 他 知床世界遺産候補地科学委員会, 羅臼町・札幌市

2004.7.18 他 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会哺乳類分科会, 東京都

2004.12.7 網走土木現業所職員研修講師, 網走市

2004.12.8 他 オジロワシ・オオワシ保護増殖事業策定会議, 釧路市・札幌市

2005.3.10 野生生物保護対策検討会シマフクロウ保護増殖分科会, 釧路市

2005.3.22 北海道大学・オークランド大学共同国際シンポジウム知床セッションパネリスト「知床世界遺産候補地の自然環境と歴史」, 斜里 (ゆめ

ホール知床)

3. 調査研究

なし

合地信生

担当：地質

1. 報文

合地信生・松田功. 2004. 峰浜海岸1遺跡出土のベニガラ形成温度. 知床博物館研究報告25: 59-64.

合地信生. 2004. 地誌. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.2-98. 斜里町, 斜里.

合地信生・後藤芳彦・滝澤大徳. 2004. 知床博物館第26回特別展図録 活火山羅臼岳. 32pp. 斜里町立知床博物館, 斜里.

2. 館外活動

なし

3. 調査研究

なし

松田 功

担当：考古・昆虫

1. 報文

合地信生・松田功. 2004. 峰浜海岸1遺跡出土のベニガラ形成温度. 知床博物館研究報告25: 59-64.

松田功. 2004. ウトロ高原4遺跡発掘調査報告. 知床博物館研究報告25: 65-80.

松田功. 2004. 斜里町文化財調査報告20. 川上1遺跡発掘調査報告書. 80pp. 斜里町教育委員会, 斜里.

松田功. 2004. 斜里町文化財調査報告23. 大栄7



大谷幼稚園自然観察会



開館記念もちつき大会

活動報告

遺跡発掘調査報告書. 80pp. 斜里町教育委員会, 斜里.

松田功. 2004. 先史. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.246-338. 斜里町, 斜里.

2. 館外活動

なし

3. 調査研究

2004.10 ユウベツ沼 (岩尾別) における古環境調査

増田泰

担当: 動物 (哺乳類)

1. 報文

増田泰. 2004. 魚類. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.146-166. 斜里町, 斜里.

増田泰. 2004. 両生類. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.167-169. 斜里町, 斜里.

増田泰. 2004. 爬虫類. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.169-173. 斜里町, 斜里.

増田泰. 2004. 動物に関する研究史. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.241-242. 斜里町, 斜里.

増田泰・宇仁義和. 2004. 魚類. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp.206-241. 斜里町, 斜里.

2. 館外活動

2004.10.18 北海道大学獣医学部非常勤講師 野生生物学総合講義, 札幌

3. 調査研究

通年 町内アライグマ調査

2005.2.24-3.3 厳冬期知床野生動物調査, 知床岬

内田暁友

担当: 植物

1. 報文

松本淳・内田暁友. 2004. 北海道で確認されたヤマモジホコリ. 福井総合植物園紀要2: 51-52. 佐藤利幸・内田暁友・梅沢俊・甲山隆司・児玉裕二・原登志彦. 2004. 北海道寒冷地 (北・東部) のシダ植物: 分布と多様性. 103pp. 自費出版, 松本.

内田暁友. 2004. 北のいきものシリーズ シレトコスミレ. 北の自然 (環境省広報誌) 43: 5-6.

内田暁友. 2004. 植物. 斜里町史第三巻編纂委員会 (編), 斜里町史3. pp. 100-144. 斜里町, 斜里.

2. 館外活動

なし

3. 調査研究

通年 町内植物相調査

通年 環境省第2次レッドリスト見直しのための調査 (維管束植物)



第26回特別展図録



しれとこライブラリー



博物館のひろば

4. 文化財保護

1. 指定文化財

1) 北海道指定文化財

朱円周堤墓は縄文時代後期の墳墓群で、墓をめぐる土堤が環状に築かれているところから周堤墓または環状土籬と呼ばれる。戦後間もない昭和23・24年に河野広道北海道教育大学教授（当時）によって発掘調査が行われた。周堤墓は2つあり、直径28mと32mの円形の土堤をめぐるしている。出土品は知床博物館で常設展示している。

朱円竪穴住居跡群は斜里沿岸に広がる海岸砂丘上にあり、森の中におびただしい数の窪んだ住居跡が見られるため「朱円千穴」と呼ばれて親しまれてきた。住居跡の形態から、この砂丘には数千年にわたる縄文文化中期から続縄文文化期、それに続く擦文・オホーツク文化期の様々な人々が住み続けたと考えられている。

オシクンクシユン粗粒玄武岩柱状節理はウトロの南西約5.5kmに位置するオシンコシン崎にあり、その姿から「俵石」と呼ばれている。ここに分布する第三紀中新世の頁岩層に粗粒玄武岩の岩脈が貫入するという地下でのマグマ活動に加え、オホーツク海の激しい風化作用によって岩石が浸食され生れた美しい縞模様が特徴となり、横向きの柱状節理と岩柱に直角に発達する縞状構造が見られる。岩石標本を知床博物館で常設展示している。

斜里海岸の草原群落は斜里川西方の海岸、東西約2.5kmにわたる自然草原の群落で、エゾスカシユリ・ハマナス・エゾゼンテイカなど50種をこえる野生の草花が観察できる。周囲は網走国定公園に指定され、遠方には斜里岳、海別岳、知床連山が見えるオホーツク地方の景観を代表する場所でもある。

名称	指定年月日	場所	所有者	面積
史跡				
斜里朱円周堤墓および出土遺物	昭和32年(1957)1月29日	朱円西区東一線	斜里町	1.4ha
朱円竪穴住居跡群	昭和42年(1967)6月22日	朱円国有林内	農林水産省	24.2ha
天然記念物				
オシクンクシユン粗粒玄武岩柱状節理	昭和48年(1973)3月14日	オシンコシン海岸	国土交通省・農林水産省	2.2ha
斜里海岸の草原群落	昭和25年(1950)8月28日	美咲国有林内	農林水産省	96.0ha

*所有者が国の文化財の管理団体はいずれも斜里町



アザラシ放獣



オオタカ幼鳥保護

2) 斜里町指定文化財

初代斜里場所請負人三代目村山伝兵衛が寛政8年(1796)に豊漁を祈願して寄進した社祠である旧斜里神社拝殿、文久2年(1862)斜里場所請負人藤野家の支配人三右衛門によって斜里神社に奉納された絵馬、享和元年(1801)幕府役人北陰政幸らが斜里旅行中に宗谷から止別までの地名を折込み和歌にし斜里神社に奉納した歌枕額は知床博物館で常設展示している。

また、文化4年(1807)斜里地方の沿岸防衛を命ぜられた津軽藩士100余名が厳しい越冬期間中に浮腫病にかかり次々と死亡し、翌年故郷したのはわずかに17名という「津軽藩士の殉難事件」に関連した文化財が6件指定されている。禅龍寺保管の「津軽藩士死没者の過去帳」を除き、これらは町民公園など博物館周辺で公開されている。

平成15年(2003)には新たに斜里神社石灯籠が指定された。これは天保5年(西暦1834年)に奉納された一対の石灯籠で、三上伴七(当時のシャリ場所支配人)と畑藤清六郎右衛門(シャリ場所を請け負っていた藤野喜兵衛の持ち船住吉丸の船頭)が斜里神社に寄進したものと考えられている。

名称	指定年月日	場所	所有者	種別
旧斜里神社拝殿	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	建造物
絵馬	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	有形
歌枕額	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	本町49番地2町民公園	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	朝日町4番地2	日蓮宗日照寺	有形
津軽藩士死没者の過去帳	昭和57年(1982)7月1日	本町47番地2	曹洞宗禅龍寺	有形
津軽藩士シャリ陣屋跡	昭和62年(1987)7月1日	本町52番地24		史跡
津軽藩士墓所跡	昭和62年(1987)7月1日	本町49番地2町民公園		史跡
シャリ運上屋(会所)跡	昭和62年(1987)7月1日	港町8番地28		史跡
斜里神社石灯籠	平成15年(2003)3月26日	本町44番地斜里神社境内	斜里神社	有形

*斜里朱円環状土籬の出土遺物および上の町指定文化財3件は、知床博物館で常設展示しています。



シャチ漂着(羅白海岸)

2. 登録文化財

旧根北線は、知床半島の基部を横断し北見地方と根室地方を結ぶ路線として昭和13年に着工された。昭和15年には第一幾品川橋梁（通称越川橋梁）が斜里町越川地区に完成。しかし鉄道建設工事はこの年に中断され、橋梁は使われないまま戦後を迎え今日に至った。

越川橋梁は長さ147m、高さ21.7mの10連アーチ型コンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。昭和48年に国道の改良工事によって橋脚の2本が撤去されたが、河畔林など周囲の自然環境にとけ込み、美しい姿を今に留めている。また、戦時下の鉄筋を使用しない構造にも特徴があり、当時の土木技術を現代に伝える建造物である。

名称	登録年月日	場所	所有者	種別
旧国鉄根北線越川橋梁	平成10年(1998)7月23日	字越川245番8他	斜里町	有形

3. 埋蔵文化財

今年度は一般国道334号ウトロ道路改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を1ヶ所の遺跡で、国営畑地帯総合土地改良パイロット事業にかかる小清水地区の用水路工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を2ヶ所の遺跡でおこない、合計3箇所の遺跡調査を実施した。遺跡名、遺跡登録番号、調査面積、調査期間、主な遺構、遺物は次の通りである（担当：松田）。

1) ウトロ遺跡・I-08-1（1,311m²） 調査期間：平成16年9月1日-10月31日

斜里市街地の北東約40kmのウトロ中心市街地に位置する。遺構は縄文文化の竪穴住居跡3軒、土壙墓3基、土坑5基、焼土遺構3ヶ所を確認した。遺物は土器7,206点、石器9,770点、レキ541点、炭化物ほか220点の合計17,737点が出土した。遺物中の土器は縄文文化期前半（宇津内Ⅱ群a類およびb類式）のほか、オホーツク文化期と擦文文化期のものも僅かに混じっていた。

2) 来運1遺跡・I-08-61（1,820m²） 調査期間：平成16年5月1日-8月31日

斜里市街地の南方約10km、斜里岳山麓の標高約32-47mに位置する。遺構は縄文中期の竪穴住居跡8軒、平地式住居と考えられるもの1軒、焼けた建物遺構跡（平地式か）1軒、土壙墓1基、土坑7基、焼土遺構3ヶ所であった。遺物は土器256点、石器673点、レキ153点、炭化物ほか32の合計1,114点が出土した。遺物中の土器の多くは羅臼式土器に対比される縄文中期末のものであった。このほか点数は少ないが縄文早期は無文のもの（テンネル式相当か）と東釧路Ⅲ式あるいは東釧路Ⅳ式のものが出土している。



ウトロ遺跡

活動報告

3) 来運5遺跡・I-08-155 (200m²) 調査期間：平成16年5月1日-8月31日

斜里市街地の南方約10km, 斜里岳山麓の標高約38-40mに位置する。遺構は縄文早期の土壇墓1基, 中期の竪穴住居跡2軒と土壇2基を確認した。遺物は土器174点, 石器213点, レキ67点, 炭化物ほか4点の合計458点であった。遺物中の土器は縄文早期のものは東釧路Ⅲ式が多く, 縄文中期のものは羅臼式土器や北筒ⅢA式に対比されるものがほとんどであった。



来運1遺跡



来運5遺跡